【３町の強み（自然・花・リモート環境）を活かしたワーケーション推進事業】令和７年度事業概要

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">山形県西川町ほか２自治体</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>834,827千円
（288,584千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• ３町が連携し、観光地やコワーキング拠点など受入環境の高付加価値化・機能向上を目指す。
• 地域資源を活用した周遊型の観光体験プログラム・起業ワーケーションツアー提供により、消費額の増加を図る。
• テレワーカーとの交流や地域の魅力把握により、町民の観光に関わる受入心や起業マインドを醸成する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】
○ツアー・ワーケーション受入環境整備
・観光地の高付加価値化向上費（負担金等）81,901千円
・コワーキング拠点の機能向上費（委託料等）31,432千円
・公園設備等のリニューアル費（工事請負費等）22,605千円
・コワーキング施設案内窓口整備費（委託料等）5,000千円
○サスティナブル旅行企画
・フラワーツーリズムの定期的開催費（委託料等）2,200千円
・３町の周遊ツアー企画費（負担金）3,900千円
○起業マインド醸成事業・調査広報事業
・町民の寛容性向上事業費（負担金等）26,891千円
・首都圏での地域の魅力調査費（委託料等）2,500千円</td><td colspan="3">
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">３町協議会を設立し、企業、関係人口、町民のマッチングの推進を行うとともに、観光協会やパートナーシップ企業と集約意見や事業内容を共有しながら、改善点の明確化と事業向上につなげていく。
また、地元金融機関をオブザーバーとし、地域民間事業者等の資金調達や販路確保への支援、マーケティング効果の分析などを手掛けるほか、コアなファンとなるテレワーカー（関係人口）目線でのツーリズムや受入環境などへの意見把握と事業内容への反映にも取り組んでいく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域における観光消費額　（＋6,135百万円）
②ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙツーリズム観光商品造成数（＋25商品）
③ﾜｰｹｰｼｮﾝ・ﾃﾚﾜｰｶｰ数（＋1,200人）
④ﾃﾚﾜｰｶｰと住民の交流事業数（＋36事業）</td></tr>
</table>

【３町の強み（自然・花・リモート環境）を活かしたワーケーション推進事業】令和７年度事業評価

	合計		令和７年度（実績値）		令和８年度（計画値）		令和９年度（計画値）	
事業費	１３１，８７４千円		２４，０７４千円		５３，９００千円		５３，９００千円	
交付金	６５，９３７千円		１２，０３７千円		２６，９５０千円		２６，９５０千円	
重要業績評価指標（KPI）	指標名	事業開始時点	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	地域における観光消費額（推計）（百万円）	28,982	31,027	844	33,072	－	35,117	－
	サスティナブルツーリズム観光商品造成数（単独分）（商品）	4	10	6	16	－	24	－
	サスティナブルツーリズム観光商品造成数（連携分）（商品）	0	1	1	3	－	5	－
	ワーケーション・テレワーカー数（人）	150	450	784	900	－	1,350	－
	テレワーカーと住民の交流事業数（事業）	5	13	8	27	－	41	－
	調査事業を受けて改善したツアー商品数（商品）	0	1	1	3	－	5	－
結果及び評価	実施結果	３町で、観光地の高付加価値化向上、コワーキング拠点の機能向上、３町共通パス・クーポン、３町の周遊ツアー、首都圏での地域の魅力調査を実施し、それぞれが持つ自然環境や食文化資源の強みを活用し、新たな観光需要を喚起でき、テレワーク環境を整備したことにより、多様な働き方に対応できる共通の強みを持つことができた。						
	KPI達成状況	2	← 1 目標達成 2 おおむね達成できた 3 達成できなかった					
	達成状況の要因	首都圏での魅力度調査の結果をもとに、参画自治体、関係機関と連携を図ったことで、３町の強みを生かした旅行商品造成や３町を周遊する事業を実施できた。これまでに接点がなかった層の誘客につながり、観光客からワーケーションやテレワークに繋がりえるコアな関係人口の獲得につながる取り組みとなった。						
	多様な主体からの意見等	町商工会、観光交流協会から、町内観光地から町内飲食店等への新たな人の流れができたとの評価を得た。また、町民との交流事業を通し、受入心の醸成や寛容性の向上にも繋がったと意見を受けた。						
	今後の展開	３町は、それぞれが持つ自然環境や食文化資源の強みを最大限に活用し、新たな観光需要と、テレワーク環境を活用し、３町が連携することで、点から面への活性化策として、観光客からワーケーションやテレワークを通じたコアな関係人口を獲得し、そして移住希望へとつなげるとともに、３拠点のテレワーカーを各地に呼び込み、テレワーカーと町民との交流を通じて新たなビジネスチャンスを生み出し、起業を創出を目指す。						